

「人」と「まち」をつなぐ

広報

えびの

今月の掲載記事

◎ CIVIC NEWS

◎ まちのわだい

◎ えびの気質「居本順子さん」

◎ うまかもん「サトイモの田楽」

特集

えびの市で農業を始めよう！



2012 December vol.554

12

Ebino city Public relations

えびの市で 農業を始めよう！



えびの市の基幹産業でもある農業の担い手は、高齢化が進み、年々減少しています。このまま、減少が続くと、えびの市の農業が衰退する恐れがあります。そつした中、えびの市の農業の活性化を図るには、農業を支える新たな担い手が求められています。

近年、農家出身ではない人が、自ら独立して農業を始めたり、農業法人に就職したりする形で農業の仕事に就くケースもあります。一方では、生計のめどが立たないなどの理由で離農する人もいます。

えびの市では、新たに農業を始めようとする人が、就農時の「所得の確保」や「技術の習得」に関する悩みや不安を解消し、安心して農業を始めることができるよう、平成24年度から新規就農者向けの総合的な支援を行っています。今回の特集では、新規就農総合支援事業を活用して農業を始めた人などに話を聞きました。

生産を始めて4年 これからは夫婦二人三脚で

イチゴ農家 前田明宏さん 友美さん

4年前、実家(山内区)近くの農場でイチゴの生産を始めました。物心ついた時には、家の田植えや稲刈りの手伝いをしていたので農業には親しんでいました。イチゴ生産を始めたきっかけは、農業大学校に入学する前の研修先で、「えびのの土壌はイチゴ

の生産に適しているから、イチゴの生産をしてみらんね」と助言をもらったことです。

生産を始めると、日当たりや温度調整が難しく、なかなかうまく育てることができませんでした。虫や病気が発生した時は、市の畜産農林課や農協の指導員、周



古葉を摘除し、葉の付け根にできる芽を取り除きます。

りのイチゴ農家に相談しながら対処しました。今では、イチゴのことがだんだんわかり始め、自分なりに対処できるようになりました。

生産を始めて4年目で、やっと軌道に乗りつつあります。市の就農支援制度などを活用していけば2〜3年で軌道に乗せることができると思います。

今年、11月15日のいいイチゴの日に、新たなパートナーを迎えました。今まで一人でやっていたことを二人でできるようになり、仕事も楽になりました。これからは、妻と協力しながらイチゴの生産をしていきたいです。

「私は、農業経験はありません。イチゴ生産は体力勝負の仕事で大変です。今は、補助的な仕事をしています。夫と力を合わせてがんばっていききたいです(友美さん)」



今は、イチゴを全て農協に出荷する形をとっています。今後は、立ったまま収穫することができ、収穫方法を変えて収量を増やしていきたいです。

収量が増えれば、観光農園を開きたいですね。自分が生産したイチゴを直接消費者に届け、味わってもらいたいです。できれば、イチゴを使った加工品も作ってみたいです。

これから農業を始めようと思っている人は、最初の資金繰りなど、わからないことが多いと思います。そんな時は、市の新規就業制度や西諸県農業改良普及センター、農協などを利用し、相談してから就農を考えることをお勧めします。



働いた分だけ自分に返ってくる農業が好き

酪農家 石ヶ野雅^{まさし}さん

高校を卒業後してから、実家の南原田で酪農を始めました。酪農を始めて今年で7年目です。現在71頭の牛を飼っています。本格的に酪農を始めようと考え

始めたのは、中学3年の時です。幼い時から家の手伝いをしていましたが、何気ない作業の中、父の後ろ姿がすごくかっこよく見えた瞬間がありました。その時、自分

も酪農をやってみようと思いましたが。

始めたころは、教科書どおりにはいかず、牛の体調管理などわからないことがたくさんあり、悩みました。そんな時は、自分で調べ、それでもわからなければ、酪農の師でもある父や近くの仲間聞いて解決していました。今では、酪農のことが少しずつですがわかってきました。

朝早くからの作業と休みがないのがこの仕事のつらいところです

ね。「ほかの人が遊んでいるのになんで自分だけは」と思う時があります。でも、命を扱う仕事、そうは言っていられないと自分について聞かせ、仕事に励んでいます。自分が一生懸命働けば、働いた分だけ自分に返ってくる酪農が好きです。

経営規模を大きくしたいところですが、それには資金が足りません。エサ代などが高騰している中、経営規模を大きくするのは難しいと思います。経営規模を大きくするのはなく、飼育環境の改善などに取り組み、今いる牛の個体能力

を上げていきたいです。

実は、最近、入籍しました。来年4月からは妻と一緒に酪農を始めます。妻は、「私も酪農がやりたい。トラクターを運転したい」と大型特殊免許を取りました。

市に就農支援制度があることは知りませんでした。ホームページ等で具体的な内容を見て、活用できるものがあれば活用してみたいです。

これから農業を始めようと思っている人がいるかもしれません。もし、農業を始めたら、一緒にえびの市の農業を盛り上げていきましょう。

やりがいと楽しみがあるから続けられる

畜産農家 横山大樹^{あき}さん

高野区で牛の生産から繁殖を行っています。畜産を始めて3年になります。

農業大学校を卒業してからの1年間、高鍋の県家畜改良事業団で研修を受けることになりました。その時、県内で口蹄疫が発生

しました。研修先の事業団には、牛が1頭もいなくなり、そのため、予定されていた研修などがすべて中止となりました。「ここにもいなくても仕方ない」と思いえびの市に帰ってきました。

えびの市でも口蹄疫の影響で牛



●新規就農者への支援一覧

先進農家等受入研修業務延長支援事業（公社支援制度拡充型）

<p>【対象者・要件】 当該研修を受ける研修生および受入先進農家等は次に掲げる要件を全て備えた者とする。</p> <p>【研修生】 ・就農に意欲と情熱を持ち、えびの市内定住し、かつ農業に従事することが見込まれる者（農業法人への就農を含む） ・研修期間中は受入先進農家等の指示に従うとともに、研修で知り得た秘密について、これを漏らさないこと。</p> <p>【受入先進農家等】 県農業振興公社が行う先進農家等受入研修業務の要件に合致すること。</p>	<p>【支援内容】 県農業振興公社が行う先進農家等受入研修業務の支援を受ける研修生と受入先進農家等が支援期間の延長をえびの市に申し出た場合にもその延長期間に対して、えびの市が独自に指導謝金等の支援を行う。</p> <p>※概ね1単位を1か月とする。1単位期間中の研修日数は、10日以上とする。 (公社支援分1単位～6単位) 6単位×48,000円＝288,000円 (市拡充支援分7単位目～12単位) 6単位×48,000円＝288,000円</p> <p>※原則として1単位から12単位までは連続した研修であること。 ※延長の限度を7単位目～12単位までとする。(半年延長)</p>
---	---

農作業体験サポーター事業（公社支援制度拡充型）

<p>【対象者・要件】 農作業体験サポーター ○先進農家 ○農業法人等</p>	<p>【支援内容】 市外の農作業体験希望者の成人を受け入れて、基礎的な知識・技術に関する指導・助言を行う農作業体験サポーター（先進農家等）に対して指導謝金を交付する。</p> <p>新規就農希望者1名(複数体験者も同額) ○2日以内 1万円 ○1週間以内 2万円</p> <p>農作業体験期間は、1週間以内とする。 ※上記①事業の導入やグリーンツーリズムの農作業体験のメニュー化に有効と見込まれる。</p>
--	--

就農定着促進振興助成金（公社支援制度プラスα）

<p>【対象者・要件】 えびの市内に継承資源がある農業後継者あるいは新規参入者で、えびの市内での就農を目的として（農業法人への就職を含む）、農業大学校または農業実践塾で研修を受ける者に対して助成する。</p> <p>要件①えびの市内に住所を有する者 要件②実践塾生においては、えびの市において意見書を書くこと。65歳未満。</p>	<p>【支援内容】 県農業振興公社が行う就農研修資金（無利子）およびニュー就農奨学金貸与制度事業（実践塾生分）+α</p> <p>○公社支援分 農業大学校等：月額5万円以内（青年：返還期間12年以内うち据置期間4年） 中高年：返還期間7年以内うち据置期間2年 実践塾生：月額3万円（6か月・12か月）</p> <p>○市支援分 農業大学校・実践生ともに、月額5万円以内の助成 ※病気・事故・死亡などの特に認める場合を除き、途中で退学した場合、それまで支給した助成金は全額返還とする。</p>
--	--

新規就農者総合支援事業

<p>【対象者・要件】 ○市内在住若しくは移住見込みの者で、住居等の生活支援を実施。 ○認定就農者となった時点を新規就農者とみなす。 ○年齢要件18歳～55歳まで。 ○就農計画（5年間の計画）を作成し県の認定を受ける。</p>	<p>【支援内容】 ○認定就農者に認定された者に、生活・住居支援を行う。 ○月額150,000円/1人×4月（12月～3月分）＝600,000円（平成24年度は2人まで）</p>
--	--

問 市畜産農林課担い手対策室
☎ 35-1111（内線 234・241）



の出荷ができない状態でした。実家では、効率的な生産を行うため、大型トラクターの購入が決まっています。口蹄疫で出荷ができず、収入のない中、市の新規就農制度を活用して、少しでも実家の負担を減らすことができなかと考えました。

実際に農業や畜産を始めてみる

と機械の扱い方や畑の起こし方、牛の状態や病気の際の治療の仕方など、学校で学んだことと同じことは、ほとんどありませんでした。それが、難しいところであり、おもしろいところだと思えます。

畜産をしていてわからないことがあれば、自分で調べて解決しています。それでもわからなければ、

父に聞いて解決しています。これからはたくさんの方を学んでいきたいです。

畜産は、生き物を相手にする仕事なので休みがないという点がつらいです。でも、生産した牛が高額で売れたり、品評会でよい結果が出たりした時は、「やっていて良かった」と思えます。



農業や畜産は、厳しいところばかりかもしれませんが、それ以上の楽しみがあるからこそ、続けられる仕事なのだと思います。

今、約60頭の牛を飼育していますが、今後は、子牛の生産・繁殖を年間約40頭～50頭にすることを目指したいです。

えびの市で農業を始めたいと考えている人がいると思います。えびのは農業をするには最高の場所です。農業には、大変なこともたくさんありますが、達成感もあります。えびので一緒に農業をやってみませんか。

目的別の歳出の状況 ※()は前年度比

- ◎**議会費**・・・1億6,909万4千円(31.1%増)
議会の活動に要する経費です。
- ◎**総務費**・・・25億7,732万円(12.8%増)
市有財産の維持管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員の人事などに要する経費です。
- ◎**民生費**・・・35億6,595万5千円(1.9%増)
社会福祉(身体障害者・高齢者・児童に関する福祉)や生活保護などに要する経費です。
- ◎**衛生費**・・・9億5,006万3千円(5.3%増)
市民の方が健康で衛生的な生活環境を保持するためや、ごみの処理などに要する経費です。
- ◎**労働費**・・・1億3,106万2千円(103.3%増)
労働者のための施設の管理・雇用対策などに要する経費です。
- ◎**農林水産業費**・・・6億8,505万4千円(26.8%減)
農業委員会や、農業・畜産・林業の振興などに要する経費です。
- ◎**商工費**・・・2億7,692万8千円(9.1%減)
商工業の振興や、観光事業、企業誘致などに要する経費です。
- ◎**土木費**・・・6億6,769万1千円(1.0%減)
道路の新設や維持管理、市営住宅の維持管理などに要する経費です。
- ◎**消防費**・・・3億4,818万3千円(10.3%増)
消防や災害対策に要する経費です。
- ◎**教育費**・・・7億1,300万6千円(20.5%減)
小・中学校、教育委員会、社会教育や、市内体育施設の維持管理などに要する経費です。
- ◎**災害復旧費**・・・1億891万4千円(138.2%増)
災害によって生じた被害の復旧に要する経費です。
- ◎**公債費**・・・9億8,898万9千円(14.6%減)
市の借金の返済に要する経費です。
- ◎**合計**・・・111億8,225万9千円(1.1%減)

用語の説明

- 【**地方交付税**】地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるよう、一定の基準により国を通じて交付されるお金。
- 【**国庫支出金**】国から地方自治体に支出される補助金や委託金。
- 【**市債**】市がさまざまな事業を行う時、長期にわたって借りるお金。
- 【**自主財源**】市が自ら徴収または収納できる財源。市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入など。
- 【**依存財源**】国や県の意思により決定された額を、交付されたり、割り当てられたりする財源。地方交付税、国庫・県支出金、地方譲与税、市債など。
- 【**義務的経費**】歳出のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減することが困難な経費。人件費、扶助費、公債費。
- 【**投資的経費**】歳出のうち、その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。
- 【**人件費**】市職員給与、市議会議員・各種委員報酬など。
- 【**扶助費**】法令に基づき、被扶助者に支出される経費。児童手当、医療扶助、教育扶助など。
- 【**普通建設事業費**】道路、橋梁、学校、庁舎等公共用または公用施設の新設増設等の建設事業に要する投資的経費。

■お問い合わせ先
市財政課財政係
☎ 35 - 1111 (内線 381)

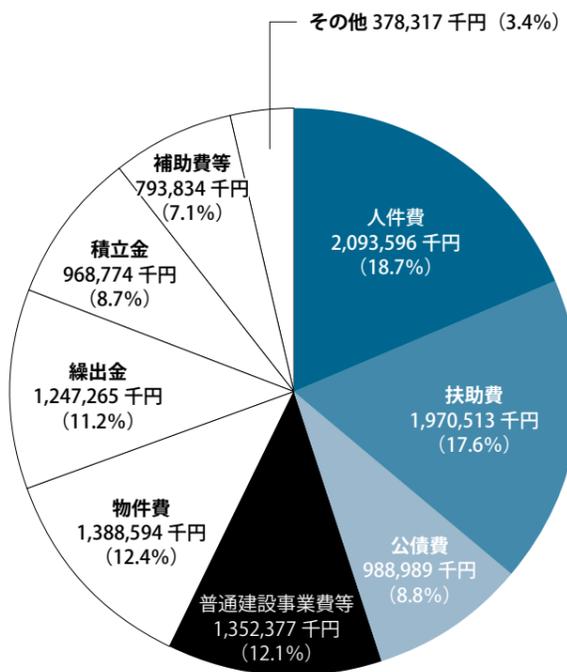
平成 23 年度

決算

一般会計 歳出 総額

111 億 8,225 万 9 千円

対前年度比 1.1% 減



青：義務的経費 黒：投資的経費 白：その他の経費

り当てられたりする依存財源に分けられます。歳出は、補助費等、公債費、人件費などの減により、対前年度比1・1%の減となりました。歳出を性質別に大別すると、人件費・扶助費・公債費の合計である義務的経費、普通建設事業費・災害復旧事業費の合計である投資的経費、物件費・繰出金・積立金・補助費などのその他の経費に分けられます。

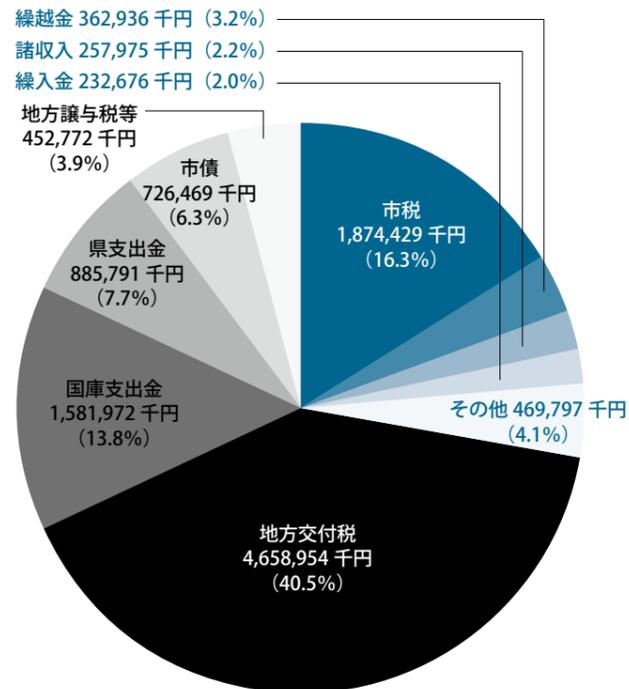
報告

【地方財政状況調査】より

一般会計 歳入 総額

115 億 377 万 1 千円

対前年度比 1.5% 減



※()は構成比 青：自主財源 黒：依存財源

平成23年度一般会計の決算状況は、歳入総額15億377万1千円、歳出総額11億8225万9千円で、差し引き3億215万2千円となりました。歳入は、地方交付税、国庫支出金、繰越金などの減により、対前年度比1・5%の減となりました。歳入には、市が自ら徴収または収納できる自主財源と、国や県から交付されたり、割

特別会計・企業会計決算

【単位:千円】

区分	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	3,745,162	3,485,644
後期高齢者医療特別会計	575,298	573,755
介護保険特別会計	2,723,370	2,722,125
介護サービス事業	21,432	18,495
観光特別会計	45,638	44,914
水道事業会計	324,379	286,874
資本的収支	202,389	295,176
病院事業会計	895,966	958,812
資本的収支	9,279	17,850

国民健康保険のように、特定の人たちの相互扶助を目的とした事業は、原則として、利益を受ける人たちが負担するお金で運営します。そのため、一般会計とは別の「特別会計」となっています。

市民負担の状況

【単位:円】

区分	決算額	一人あたり	一世帯あたり
市民税(個人)	484,042,073	22,190	48,235
固定資産税	1,010,968,808	46,345	100,744
軽自動車税	64,037,300	2,936	6,381
市たばこ税	129,488,023	5,936	12,904
入湯税	3,672,750	168	366
国民健康保険税	517,734,207	67,607	119,101

住民基本台帳人口21,814人、10,035世帯で算出。国民健康保険被保険者は7,658人、4,347世帯。(平成24年3月31日現在)
※滞納繰越分を除きます。
※各税目は、納める対象者が決まっており、各個人の税負担額はそれぞれ異なりますが、ここでの一人・一世帯あたりの金額は、単純に決算額を人口・世帯数で割って算出しています。

財産の状況

◎公有財産、物品

区分	面積・数量等
土地	10,387,943.13㎡
建物	136,924.60㎡
物品	物品のうち公用車136台

◎債権、基金

【単位:円】

区分	22年度末残高	増減	23年度末残高
有価証券	16,644,200	-500	16,643,700
出資による権利	166,444,613	-110,828,038	55,616,575
債権	459,791,169	-1,947,931	457,843,238
基金	6,362,384,139	751,382,377	7,113,766,516

市債の借入残高の状況

【単位:千円】

区分	22年度末残高	増減	23年度末残高
一般会計	7,461,681	-144,927	7,316,754
水道事業会計	865,533	122,838	988,371
病院事業会計	46,198	-5,932	40,266
一時借入金	-	-	-

特別会計・企業会計決算、市民負担の状況、財産の状況は【平成23年度決算書】から

CIVIC NEWS

市政ニュース

コミュニティバス実証実験運行 実験は12月28日に終了

市内4つの路線で行っていたコミュニティバスの実証実験運行は、大河平線は、12月25日、白鳥線は、12月26日、堀浦線は、12月27日、東部線は12月28日で終了します。

証・検討します。その結果を踏まえ、本格運行に向け、運行形態、開始時期などの運行計画を策定する予定です。10月から12月にかけて行った実証実験運行の結果等は、広報紙等で公表します。

☎ 35-1111 (内線322)



12月28日で実証実験運行は終了します

特産品出荷者にハウスの設置助成 物産館の充実に向けて

市では来年4月の物産館オープンに向けて準備を進めています。8月9日、物産館に展示する特産品の出荷者約196人で構成するえびの市特産品出荷者協議会が設立しました。同協議会では、気象条件に左右されない安定した生産を推進し、出荷する生鮮野菜等の品質向上と生産拡大を図るために、会員でA Pハウスや改良型ハウスの設置を希望する人に助成を行っています。

11月24日、葉物野菜等を出荷予定の東脇彰さん(大明司区)が第1号のハウスを設置しました。東脇さんは、「このハウスを活用し、物産館に安定した農産物を提供したい」と話していました。市では、引き続き、えびの市特産品出荷者協議会の会員を募集しています。詳しくは、えびの市道の駅物産館開業準備室までお問合せください。

☎ 33-5743



安定した農産物の供給を目指します

宝くじ助成事業で防災用機材、鼓笛隊セットを整備 地域防災・防災教育に役立てます



鼓笛隊セットを手取る園児たち

財団法人自治総合センターから宝くじの助成により、加久藤麓地区自主防災会に防災用資機材一式が、また、第2和光幼稚園に鼓笛隊セットが贈られました。同センターは、地域防災の活動への支援や幼児期からの防火思想の普及啓発などを目的とした助成を行っています。加久藤麓地区に贈られたのは、折りたたみリヤカーや発電機、ハロゲン灯器セット、災害用式マットなどです。

第2和光幼稚園に贈られたのは、総指揮杖、大・中・小の太鼓、ベスト、ベレー帽などです。引き渡し式は、11月18日(加久藤麓地区自主防災会)と22日(第2和光幼稚園)に行われました。



整備された防災用機材一式



西川北区で防災訓練
万一の災害に備えて

11月25日、西川北区で大雨による河川の氾濫、土砂災害を想定した避難訓練が行われました。訓練には、西川北区民や地元消防団など約165人が参加しました。

訓練では、避難勧告を聞いた住民が公民館へ避難を行ったほか、自衛隊が孤立世帯の救出訓練を行いました。

避難場所の公民館では、分区長（班長）が手際よく避難者の数を確認し、「宮馬場分区、避難完了」などと区長に報告していました。



京町銀天街看板を化粧直し
銀天街の活気を願って

11月25日、まちおこし団体「きょうまち未来塾」の15人が京町温泉郷のシンボルである京町銀天街の看板の化粧直しを行いました。

看板の化粧直しをすることで、銀天街に活気を取り戻そうと行われたものです。看板は、建てられから約30年を経過し、老朽化が目立っていました。

同会の黒松裕貴会長は「化粧直しを機に、この看板を積極的に活用していきたい」と話していました。

第8回えびの市米・食味コンクール 勘場さんの米が栄冠



11月17日、第8回えびの市米・食味コンクールが、えびの市農協本店で行われました。コンクールには、186名の応募がありました。本選審査に進んだ5点が、農業関係者など約70人の審査員により外観、香り、味などが審査され

ました。

審査の結果、今年の最優秀賞は、勘場孝次さん（下大河平区）が生産した米（品種にこまる）でした。

今年から食味値平均が高い地区が表彰される団体表彰が設けられ、下大河平地区が授賞しました。



えびのグワッケンケンまつり
各地区の郷土芸能を披露

11月17日、18日の2日間、えびの市文化センター広場で「えびのグワッケンケンまつり」が行われました。

グワッケンケンとは、輪太鼓の通称です。祭りは、市内の郷土芸能の発表の場として田の神さあひの里産業文化祭と同時に開催されました。会場では、水流神楽や西長江浦大太鼓踊りなど12地区の郷土芸能が披露されました。

訪れた多くの人は、熱演にたくさん拍手を送っていました。



えびの産“にこまる”を寄贈
学校給食で味わって

11月22日、「元気の農業をめざす会」の8人が市長を訪問。同会が作っている米（にこまる120キロ）を市に寄贈しました。

同会が作った新米“にこまる”を学校給食で食べてもらおうと贈られたものです。米は、12月4日の学校給食で使用されました。

寄贈を受け市長は、「食味コンクールでも『にこまる』が一番でした。子どもたちにおいしいお米を味わってもらいたい」と話していました。



ハートリンクフェスタ2012inえびの
障害者スポーツに理解を

12月2日、真幸地区体育館で、「ハートリンクフェスタ2012 in えびの」が開催されました。フェスタでは、車いすバスケットボールの試合などが行われました。ハートリンクフェスタは、県内の障害者スポーツ（特に車いすス

ポーツ）に対する理解や認知度をアップを目的に行われているものです。

会場ではこのほか、UMKの柳田哲志さんとシンガーソングライターの真北聖子さんのトークショーなどが行われました。



えびの The scene の 気質

フライングディスク
居本順子さん

フライングディスクとの出会い

「フライングディスクは、子どもから大人まで誰でも気軽にできるスポーツです。いろんな人にこの楽しさを伝えたいです」と話すのは、10月に開催された「第12回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会」のフライングディスク・ディスクの部で銅メダルを取った居本順子さん(下大河平区)です。

フライングディスクは、樹脂製のディスク(円盤)を使った競技で、直径0・915メートルの輪をめぐって10回投げ、何回入ったかを競う「アキュラシー」と、3回投げて飛距離を競う「ディスクスタンス」などがあります。

居本さんは、生まれた時から耳が聞こえませんが、幼少時代は小林市で過ごし、都城の学校に進学。そこでえびの出身のご主人と知り合います。平成17年にご主人の実家があるえびの市に来ました。

居本さんとフライングディスクとの出会いは、3年前。誘われて行った宮崎県障害者スポーツ大会でした。「飛び入りで参加しましたが、まぐれで銀メダルを取ることができました。信じられませんでした」これを機に、フライングディスクを本格的に始めました。「フライングディスクのおもしろさは、的に入った時の喜びと、外れた時の悔しさ、その両方を味わえることです」

投げる前、静かに風を読む居本さん「この

競技は風の影響を強く受けるため、競技会場では常に風向きに注意を払います。試合では、5分の持ち時間中に、自分のタイミングで投げます」

悔しかった全国大会

全国大会の前に居本さんは、青島で約1か月間、県代表の合同合宿に参加しました。合宿では、暑い中、朝から晩までディスクを投げつづけました。合宿終了後も自宅周辺で練習を重ねました。「大会前の9月は雨が多く



フライングディスクを広めたい

永山公園での練習ができませんでした。そこで、自宅の庭や田んぼで投げ込みをしました」万全の態勢で臨んだ全国大会。アキュラシーを得意とする居本さんは、本番前の練習でパーフェクトがでるなど調子は上向きでした。しかし、アキュラシーでのメダル獲得はかかっていませんでした。「いい成績が取れると思っていました。本番では、順番が後ろの方で、私が投げるまでかなり待たされました。その間、観客の多さに圧倒され、緊張のしっぱなし。本番では、思ったとおりの競技ができませんでした。すごく悔しかったです」

新たな目標に向かって

大会に参加してフライングディスクへの思いがより強くなったという居本さん「次の全国大会はもっといい成績を残したいです」
「フライングディスクは、まだまだ知られていません。これからは、障害者だけでなく多くの人にフライングディスクを知ってもらい、競技を通じて、交流をしていきたいです」

取材協力：栗坂三枝子さん(手話通訳)



Profile
いもと・じゅんこ / 61歳 / 下大河平 / 趣味: 編み物(クッションカバーづくりにはまっています)、パッチワーク



うまかたん

今 月紹介するのは、男の腕まくり料理教室の皆さんが作った「サトイモの田楽」です。

サトイモは、親イモに子イモ、さらに孫イモとたくさんイモがつくことから子孫繁栄の象徴として、お正月や行事などの料理によく使われています。

サトイモのみそ田楽は、みその香りとサトイモのもっちりとした食感が絶妙です。ユズや木の芽などをお好みで入れることで、なお一層、風味が広がります。

サトイモの皮をむく際、手がかゆくなります。このかゆみを防ぐには、洗って乾かしてから皮をむくか、手を酢水につけたり、塩をつけたりして皮をむくとよいでしょう。



子孫繁栄の象徴として多くの料理に使われるサトイモ

今月の一品 サトイモの田楽

Recipe レシピ

【材料】

サトイモ 200g、ユズ 適宜、砂糖 大さじ1、みそ 大さじ2、みりん 大さじ1/2、白ごま 大さじ1、だし汁 20cc

【作り方】

- ①サトイモはよく洗い、茎側に少し切り込みを入れる。
- ②サトイモを熱湯でゆでる。
- ③くしが通るくらいに柔らかくなったら、ざるにあげ、少し冷まし、皮をむく。
- ④みそにみりん、砂糖、だし汁、白ごまを加えて火にかけて、砂糖が溶け、滑らかになるまで弱火で練る。
- ⑤ゆで上がったサトイモにみそをかけ、上からユズの細千切りをかける。



【紹介者】男の腕まくり料理教室みなさん

目指せ！世界ジオパーク認定



環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

環霧情報



環霧島 探訪

今月は、滝の駅「せきのお」の店長を務める都城市の藤澤正さんを紹介します。

日本の滝百選にも選ばれている関之尾滝。その入口にある滝の駅「せきのお」で観光客の皆さんを出迎えているのが、店長の藤澤正さん（右下写真）です。

旅行会社に勤務していたころ、添乗員として世界中を巡っていた藤澤さん。その知識と経験を買われ、滝の駅店長を務めることになったのが5年前で、これまで多くの観光客と接し、さまざまな人との触れ合いに魅力を感じています。

「人と同じようなことをしていてもだめ」と、関之尾滝を盛り上げるために、数々の特徴的なイベントを手掛ける藤澤さん。中でも郷土料理の「がね」に着目したがねコンテストは、作る側も食べる側も楽しめるイベントとして人気を



滝の駅「せきのお」の藤澤さん

博し、これまでに3回開催されました。初回のコンテストは雨の中での開催、「それでも傘を差して来てくださったのがうれしかった」と振り返ります。

最近では宮崎、鹿児島両県を巻き込んだ初のイベントを試みる中で、「大きな物事を進めるにはみんなの協力や連携が大切」と実感しているそうです。

「関之尾滝の魅力は形の美しさ。都城市にお越しの際は、関之尾滝と滝の駅「せきのお」にぜひ立ち寄りください」とPRに余念がありません。地域に対しても、「観光を通じてたまちづくりになれば」と滝のように力強いまちおこしへの思いは膨らみ続けます。

☎ 0986・23・2115
同 都城市経営戦略課

家庭教育学級通信

真幸保育園の家庭教育学級を紹介します。

真幸保育園の家庭教育学級は、父母の会と合同の全員参加型で行っています。今年の主な活動は、クリスマスリース作り、お菓子作り、視察研修などです。

11月、身近にある杉の葉を使ったクリスマスリース作りを行いました。最初は慣れない手つきで真剣な表情のお母さんたち。いつのまにか要領を覚え、作れるようになりました。完成した時、教室には、満足感と達成感で笑顔があふれていました。きれいに

に彩られたクリスマスリースをお互いに見せ合い歓声も生まれていました。

みんなが集まるとおしゃべりに花が咲きます。話の中で子育ての悩みなど情報の共有を図っています。その中で悩みなどを話してもらい、すっきりして帰るお母さんもいます。

これから手話教室、視察研修、講演会を計画しています。保護者同士声を掛け合い、誘い合っ家庭教育学級の交流の輪がもっと広がることを楽しみにしています。



11月に行ったクリスマスリース作り



真幸保育園家庭教育学級長
二見幸子さん

てげてげ運転追放運動実施中



県内の交通事故を原因別で見ると、運転者の緊張感の欠如と認められるわき見等（前方不注視・安全不確認・動静不注視）が全体の約70%を占めます。これは全国平均よりも約10ポイント高い状況です。

「てげてげ運転追放運動」を実施することで、運転時の緊張感を高め、脇見等による交通事故を減少させ、交通事故を抑止しようとするものです。

てげてげ運転をなくし、市内から交通事故が1件でも少なくなるよう、皆様のご協力をお願いします。

【スローガン】ストップ！脇見 ぼんやり運転

11月の交通事故発生状況	人身	14件	本年11月末	106件
	物件	26件	本年11月末	310件

年末年始の火災予防



市民の皆さん、年末年始の火災予防をお願いします。年末年始には、地元消防団が夜警を行っていますが、外出される時や寝る前には必ず、火の元の点検を心がけましょう。

万が一の火災に備え、日ごろから消火器のある場所を確認しておきましょう。消火器は初期消火に使うものです。正しく使ってこそ効果があります。

消火器の使い方

1. 上についている黄色い安全栓を引き抜く。
2. ホースを外し、火元に向ける。
3. レバーを強く握る。

11月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	1件	年計	9件
	救急	62件	年計	739件

自公連だより

※自公連…「自治公民館連絡協議会」の略称



田の神さあを会場へ運びます

「田の神さあ」祭り

末永自治公民館

末永区は75戸の集落で高齢化率は高いですが、最近、地元の子どもたちが結婚して帰ってくるようになり、区がだんだんと若返ってくるような気がして「わくわく」しています。

毎年、5月4日、「五穀豊穡」を祈念して、別嬪さん（地区にある田の神さあ）のお色直しなどをする祭りを行っています。地元はもちろん、他県に就職している人やお嫁さんに行った人、その連れ

合いなど数多くの人に呼び掛けて祭りを実施しています。祭りに出される料理は、女性部を中心に準備してもらいます。地元産「ヒノヒカリのおにぎり」、「煮しめ」などが好評です。数年前に祭りに参加したカップルは「田の神さあ」の頭を2人で触り、その翌年には子宝を授かりました。その後、3人で祭りに参加しました。



末永自治公民館館長 上園勝夫さん

男女共同参画



性と生殖に関する健康と権利

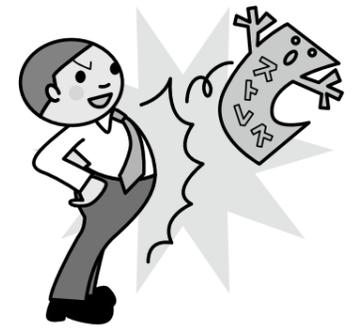
「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という言葉をご存じですか？リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは、「性と生殖に関する健康/権利」と訳されます。「健康」には、「安全で満足できる性生活」、「安全な出産などが「権利」には、「子どもを産むかどうか産むとすればいつ、何人までを産むかを決定する自由」などがあげられます。

1994年、カイロで開かれた国際人口会議において、「性と生殖に関する健康、生命の安全を女性のライフサイクルを通じて、権利としてとらえよう」というリプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念が提唱されました。「私のからだは私のもの」「子どもを産む・産まないは女性の自己決定」であるということ、そして、この権利の獲得は、安心して子どもが産める社会・産みたい社会をつくるためのものです。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、不妊、人工授精、代理出産、性暴力、買売春、中絶などさまざまな問題を幅広く含んでいます。男女が性の知識を正しく得ることが大切で、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点からの性教育を推進していく必要があります。

文：市民協働課

いきいき！健康



ストレスとうまく付き合っていますか

私たちは、日常生活の中で、絶えずさまざまな刺激（ストレス）を受けています。適度なストレスは、生活にハリをもたらしてくれませんが、過度のストレスが続くと、こころや体のバランスが崩れ、「眠れない」「食欲がない」「笑えない」「人と会いたくない」などさまざまな異変が起こります。

ことで、元気を取り戻すことができず、なかなか改善しないときには、精神科やカウンセリングなどの専門家に相談することも大切ですが、まずは、ストレスとうまく付き合うために次のことを心がけてみましょう。

○ストレスをため込まない
人に聞いてもらったり、気分転換になることをしたりと上手く吐き出してみましょう。

文：田村保健師

あの時、あのころ

あの時のえびの市を広報で振り返る



九州縦貫自動車道・加久藤トンネル貫通

九州縦貫自動車道えびのく人吉間を結ぶ加久藤トンネルが11月25日、貫通しました。えびの側坑口から約2900mで行われた貫通式には、関係者など約300人が参加しました。11月28日には、貫通記念トンネルウォーキングが行われました。ウォーキングには、宮崎、鹿児島、熊本3県の家連連ら約2000人が参加しました。参加者は、ヘルメットを着用。約2キロのウォーキングを楽しんでいました。

(平成5年12月掲載)



BOOKS すすめの一冊

図書館へ行こう

◎イベント

かるた大会と昔の遊び

- とき=1月13日(日) 13:30～
- ところ=市民図書館学習室
- 参加料=無料(参加賞あり)
- 対象=0歳～大人まで
- 昔の遊び=シャボン玉、ビー玉、羽子板、コマ回し、メンコ、おはじき、福笑い、お手玉、あやとりなど



鏡開き

- とき=1月13日(日) 15:00～
- ところ=市民図書館
- 参加料=無料(おしるこの振る舞いがあります)

◎1月のスケジュール

年末年始の休館日 1月1日～1月4日(金)まで		
5	土	おはなし会 13:30～15:00
		かたつみろかい 13:30～15:00
7	月	図書館休館日
9	水	移動図書館車巡回① 13:20～15:35
12	土	おはなし会 9:45～11:00
13	日	かるた大会と昔の遊び・鏡開き 13:30～
15	火	図書館休館日
16	水	移動図書館車巡回② 13:20～15:05 ブックスタート(1歳児に絵本配布)
18	金	移動図書館車巡回③ 13:20～15:35
19	土	おはなし会 9:45～11:00
21	月	図書館休館日(館内整理日)
23	水	移動図書館車巡回① 13:20～15:35
25	金	喫茶「ふら～っと」営業 9:45～11:00
26	土	おはなし会 9:45～11:00
28		図書館休館日
30	水	図書館休館日(館内整理日) 移動図書館車巡回② 13:20～15:05

※おはなし会:乳幼児10:30～11:00、4歳以上11:00～11:30

※移動図書館巡回

①尾八重野分校→飯野駅前地区体育館→飯野出張所

②岡元小学校→市立病院→さくら苑

③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター



青い鳥見つけた

嶋田忠/文・写真
株式会社新日本出版社

青い宝石といわれるきれいな鳥はと問われたら誰もが「カワセミ」と答えるでしょう。

著者はカワセミにあこがれ、知りたくて、写真を撮り続けているうちに写真家になりました。この作品で第15回日本絵本大賞を受賞。水中で魚を採る写真は必見です。

市内の川でも見かけるカワセミ。身近にいるカワセミが愛しくなる一冊です。

【最近入ったおすすめ本】

- 「人体 永遠の不思議！」ダン・グリーン文 玉川大学出版部
- 「だきしめて キュッキュッ」きしなば文 文芸社
- 「立石諒 追い抜く力 藤江直人著 イースト・プレス
- 「60歳のラブレター感謝」NHK出版・編
- 「七つの会議」池井戸潤著 日本経済出版社



なんで? なんで? の答え方

丹伊田弓子/監修
辰巳出版株式会社

なんで、なんでと子どもに質問責めにあったことはありませんか。その時、あなたはどのように答えていますか。

この本はその「なんで」を解決するヒントがいっぱいつまった一冊です。

この本には、「なんで」の疑問が50紹介されています。

1つの疑問から学びが始まり、一緒に考えることで子どもの好奇心を伸ばし育てることが出来ます。ぜひ一読を

市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間 ■ 火曜日～土曜日/午前9時～午後7時 日曜日・祝日/午前9時～午後5時

■休館日 ■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

短歌

まなこ閉じ過ぎゆくものに触れにけり風と呼ぶべき刻と呼ぶべき

今年も諸事雑多の一年であったが、季節は暮古月(くれこづき)より春待月(はるまつつき)へと新しい年を迎える。動植物は越冬の術(うづ)を知っている。人も又また、過ぎ来(こ)し方(かた)に思いを馳(は)せる。寂寞(せきばく)としたり事柄(ことば)だけでなく人々に人生(じんせい)の小春(こはる)日和(ひより)の日(ひ)が来る事を信じ祈(いの)りたい。(自註)

俳句

校門を出れば文具屋一葉忘

十一月二十三日は、五千円札の樋口一葉の忌日です。一葉は、東京下町の露地奥で駄菓子屋を営みながら小説を書いておりました。明治二十九年二十五歳の若さで病氣のため亡くなりました。(自註)

詩

今を

今だからできることをやり残したら悔いだけが残り急がんでも良い好きなことに...ポチポチとだが立ち向かえるのは今なのです今を大切に

白鳥区 西幸一

所得税、市県民税・国民健康保険税の申告はお早めに

平成25年度(平成24年分)の所得税、市県民税・国民健康保険税の申告に向けて、早めの準備をお願いします。

《農業を営んでいる人》

【収入・経費の分類整理】

○出荷伝票等は、作物ごとに分類整理し、保管しましょう。
○作物の生産に要した費用に係る領収書等は、肥料代、農薬代、飼料代、種苗代、燃料代など、それぞれの経費ごとに分類整理して保管しましょう。

○収穫した作物(特に水稲)は、自家消費や贈答用も収入として扱われます。数量は、必ず把握しましょう。

【牛を出荷した場合】

○出荷した牛による収入やそれに要した手数料等を把握する必要があります。「売却証明書」と「セリ売証」については「二枚一組」のまま保管しましょう。

※添付、または、提示がない場合は、免税牛の特例を受けられません。

《確定申告をする人》

【社会保険料控除】

○国民年金保険料等に係る社会保険料控除を受けるには、支払った保険料等の金額を証する書類が必要です。年金保険者等が発行する「控除証明書」を大切に保管しましょう。

【生命保険料控除・地震保険料控除】

○生命保険、介護医療保険、個人年金に係る生命保険料控除を受ける場合は、「生命保険料控除証明書」が必要です。大切に保管しましょう。

○地震保険料控除を受ける場合は、「地震保険料控除証明書」が必要です。大切に保管しましょう。

【市税務課市民税係】

☎35-1111 (内線213・216)

えびのIC高速バス利用者駐車場が4日間利用できません

市では、えびのIC高速バス利用者駐車場の舗装整備を実施します。整備期間中は、駐車場を利用することができません。代替駐車場もありませんので、ご注意ください。利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【整備期間】

平成25年1月15日(火)～1月18日(金)

【市企画課政策係】

☎35-1111 (内線322)

その病気、その症状は石綿が原因かもしれません

中皮腫や肺がんなどを発症し、それが労働者として石綿(アスベスト)ばく露作業に従事していたことが原因である(業務上疾病)と認められた場合には、労災保険法に基づく特別遺族給付金が支給されます。

石綿による疾病は、石綿を吸ってから非常に長い年月を経て発症することが大きな特徴です。

中皮腫などで亡くなり、過去に石綿業務に従事していた場合には、労災保険給付等の支給対象となる可能性があります。まずは、最寄りの都道府県労働局または労働基準監督署にお気軽にご相談ください。

【宮崎労働局労働基準部労災補償課】

☎0985-38-8837

検診等の委託医療機関が追加されました

市が実施する各種検診、予防接種の委託医療機関が追

加されました。各種検診や予防接種の際は、事前に医療機関へ受診の予約をお願いします。

【追加医療機関名】たなか循環器内科クリニック(小林市堤3516-3 ☎23-1115)

【実施する健(検)診】大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、特定健康診査、長寿健康診査(準ずる健康診査を含む)

【実施する予防接種】小中高生以上の麻しん、風しん、麻しん風しん混合、二種混合、日本脳炎、子宮頸がん予防、高齢者インフルエンザ

【市健康保険課市民健康係】

☎35-1111 (内線284・281)

電波の安全性に関する説明会

携帯電話をはじめとする電波の安全性について、正しい理解と認識を深めてもらうための説明会が行われます。

●開催日＝1月23日(水)

●時間＝午後1時～午後3時40分(受付：0時30分～)

●場所＝ニューウェルシティ宮崎

●参加料＝無料

●講演内容＝講演1「安心して電波を利用するために」、講演2「電波の安全性評価：WHOからのメッセージ」
※参加希望の人は事前に下記まで申し込みください。(先着100人)

【総務省九州総合通信局市】

☎096-312-8255 FAX：096-312-8259

南九州駅伝競走大会で交通規制が行われます

平成25年2月3日(日)、第67回南九州駅伝競走大会が

開催されます。安全で円滑な運営を行うため、選手通過予定時刻前後には、交通規制が行われ、その時間帯には交通渋滞が予想されます。お出かけの際は、早めに家を出るか、う回路をご利用ください。

【選手通過予定時刻】

中継所		通過予定時刻
スタート	えびの市・真幸地区体育館	10:00
第1中継所	えびの市・旧オカ薬局本店前	10:35
第2中継所	小林市・河島木材工業(株)前(西小林)	10:53
第3中継所	小林市・靴の小笠原前(小林駅前)	11:14
第4中継所	高原町・フリーウェイ工業団地南口前	11:37
第5中継所	都城市高崎町・ローソン高崎大牟田店前	12:04
第6中継所	都城市立志和池小学校前	12:34
ゴール	都城市役所玄関前	13:06

【南九州駅伝競走大会事務局(都城市スポーツ振興課内)】

☎0986-23-9546

交通遺児等育成資金の貸付 介護料支給のご案内

自動車事故対策機構では、交通事故被害者援護のため支援を行っています。

○交通遺児等育成資金の貸付

【対象者】自動車事故により死亡または重度の後遺障害が残った人の子ども(0歳～中学校を卒業まで)で、その保護者の生活状況が一定の要件(住民税の非課税等)に合致する人

○介護料支給

【対象者】自動車事故で「脳」、「^{せきずい}脊髄」、「胸腹部臓器」を損傷し、重度の後遺障害を持ち、「常時」、「随時」の介護が必要となった人

※詳細は、自動車事故対策機構宮崎支所までお問い合わせください。

【自動車事故対策機構宮崎支所】

☎0985-53-5385



◎今月の表紙

11月17日、18日の2日間、えびの市文化センター文化の杜周辺を会場に「第26回田の神さあの里産業文化祭」が行われました。文化の部では、園児から高齢者までの写真や絵画、手芸品など約1000点が展示されました。

今月の納税

固定資産税 第3期、国民健康保険税 第6期
後期高齢者医療保険料 第6期、介護保険料 第5期

12月25日(火)までに納めましょう。

人口 20,793人(-44人)

男性 / 9,728人(-13人) 女性 / 11,065人(-31人)

転入 / 28人 転出 / 56人

出生 / 16人 死亡 / 32人

世帯数 9,053世帯(-21世帯)

(平成24年12月1日現在)

今年一年を振り返ってみると、吉都線開通100周年を始め、多くのイベントでたくさんの人に出会い、話を聞くことができました。来年も充実した広報紙を目指し、さまざまなイベントに参加し、たくさんのお話を聞いていきたいと思っています。(川野)

Editor's



スズメの生活

スズメは「雀」と書き、「小さい鳥」の意味です。一年中、人家の周辺で生活していて、私たちに最も身近な鳥です。庭や屋根の上で「チュン、チュン」と鳴いています。

スズメの一年の生活をみると、春から夏にかけての繁殖期に、家の屋根や壁のすきまに巣を作ります。卵の数は四〜八个で、年に一〜三回ほど繁殖します。繁殖期には、クモや昆虫の幼虫を多くとりまです。他の時期は河原や草地などに小さな群れで生活し、草の実を主な食物としています。その年に生まれた

スズメは、秋になると集合して群れをつくりまです。数十羽から数百羽という群れとなり、竹やぶや大木などに集団のねぐらをもち、騒がしく鳴き合います。

スズメは、稲の未熟な実をついばみ被害を与えるので、農家からは害鳥とされてきました。

中国では一九五〇年代に、田畑の穀物を食べるスズメを撲滅させる計画が実施されました。

大規模な人海戦術で、年に十億羽以上も捕獲しました。その結果、農作物の害虫が増えて全国的に凶作となってしまったそうです。ちなみに、中国語ではスズメを「麻雀」と表記します。

日本国内のスズメの数は、二〇〇八年に行った調査では、約一八〇〇万羽でした。この数は五十年前の十分の一程度だそうです。スズメが激減した原因は、住宅の近代化で、屋根のすきまなど巣を作る場所が減り、食物をとる草地が少なくなったためと考えられています。

スズメは「おしゃべりな人」にたとえられたり、「雀百まで踊り忘れず」のようにことわざにも使われたりしています。

スズメを詠んだ俳句に、鬼貫（おにつら）の「春の日や庭に雀の砂あひて」や、一茶（いっさ）の「雀の子そこのけそこのけ御馬が通る」、同「我と来て遊べや親のない雀」などがあります。

（文／えびの市歴史民俗資料館）

「人」と「まち」をつなぐ

広報 **えびの**

平成24年12月20日発行

12